

ビデオ 通信

2017 年
5 月 15 日 (月)
No.4081

月・木曜日発行
1 ヶ月 ¥11,000 (税別)
発行：飯澤 剛 編集：齋藤 浩一

ユニ通信社

〒106-0047
東京都港区南麻布 5-2-37
DEPECHE MODE 1F
TEL：03-5422-7515
FAX：03-5422-7516
E-mail：vt@uni-press.net

デジタル・ガーデン

Beyond the Imagination

5 月 15 日で創立 20 年に

(株)デジタル・ガーデンは 15 日、創立 20 年目を迎えた。同社は現在、広尾 SK ビル（東京都渋谷区恵比寿 2 丁目）の「本社」および広尾プラザ（渋谷区広尾 5 丁目）7 階「DIGITAL GARDEN PLAZA」の 2 拠点で、オンライン編集室×13 室／オフライン編集室×6 室／MA ルーム×4 室／グレーディングルーム×2 室というポストプロダクション事業および CGI 事業、DIT 事業を中心に、社員数は全体で約 150 人を擁する。同社では 20 年を機に、コーポレートステートメントをこれまでの“Make Surprising（驚きをつくる。ときめきを生み出す。）”から“Beyond the Imagination（想像の向こうへ）”に変更した。メディアの変化やコミュニケーションの多様化に加え、TVCM 素材のオンラインデータ送稿へ移行など、広告事業やポストプロダクションを取り巻く環境が大きく変わってきている現状において「今後も欠かせないのは「感動」や「心を動かすこと」であり、それを創り出す「人材」が最も重要」とする代表取締役社長の足立晋一氏に聞いた。



(株)デジタル・ガーデン
代表取締役社長 足立晋一氏

編集室×2 室および CGI 部門でスタート

デジタル・ガーデンは 1998 年 5 月に(株)葵プロモーション（現(株)AOI Pro.）のインハウスポストプロダクションとして設立され、東京都品川区大崎で編集室×2 室および CGI 部門で営業を開始。2006 年 5 月には、増資とともに現住所に本社を移転し、広尾 SK ビル 3 階の 1 フロア／約 190 坪で、編集室×6 室、MA ルーム×1 室、CGI ルーム 1 室、ミーティングルーム×2 室、オフィスという構成で、外部貸し出しを行うポストプロダクション業務を本格的に始動した。

また、2008 年には米国の DI ポストプロダクション「Company3」（CO3）および VFX スタジオ「Method」と業務提携し、リモートセッションサービスを開始。2009 年にはサテライトのオープンによる編集室の増設、2010 年には本社ビル 2 階フロアの増床による編集室・MA ルーム増設など、拡張を続けてきた。2012 年にはカラーグレーディングに対応するハイブリッド編集室を

オープンしたのに続き、翌 2013 年には CO3 社の
カリリストを招聘して、海外テイストを重視した
カラーグレーディング業務を開始した。

さらに、同年 9 月には、資本金をそれまでの
6000 万円から 3 億円に増資するとともに、本社
至近に新拠点「DIGITAL GARDEN PLAZA」をオ
ープン。オンライン編集室×3 室／オフライン編
集室×6 室／サウンドデザインスタジオの新設と
ともに、CGI 部門や管理部門を統合。2015 年 10
月には本社ビル 2 階フロアを拡張し、DIT を擁す
る撮影部門の Digital Shooting Division とオンライン編集室×2 室を新設。撮影から仕上げまで
一貫した総合ポストプロダクション体制を確立した。



2013 年の『ビデオ通信 HD 特集号』では足立氏
がビジュアルスーパーバイザーの役職でインタ
ビューを受けている

VR/AR を中心に Visual Communication Design Dept. の業務を拡張

足立氏：インターネットを中心としたデジタルメディアの多様化、スマートフォンやタブレット
端末などデバイスの多様化など、広告を取り巻く環境は急激に変化しており、ポストプロダクシ
ョン業界においても変革が迫られていると考えています。

デジタル・ガーデンは設立当初からポストプロダクションと CGI を主軸に業務を行ってきました。
主軸の 1 つである Visual Communication Design Dept. の CGI 業務では、VR や AR といったテクロ
ノロジーの進化とともに、インタラクティブ技術を加えた体験型のコミュニケーションなど、新し
い潮流が生まれてくると感じています。すでに産業型 VR での納入実績も多数あり成長が期待でき
る事業だと確信をしています。

当社では今年も、東京ビッグサイトで開催される「3D&バーチャルリアリティ展」(6月21～23日)
および「コンテンツ東京 2017」(6月28～30日)に出展するなど、これらの活動を積極的にアピ
ールしていく予定です。

Image Integration Dept.、人材活用を中心に強化

足立氏：一方、ポストプロダクション事業は成熟した分野であり、今後の推移を見守る必要があ
ると考えています。現本社ビルがオープンした 2006 年から当社の編集スタジオは、外光の入る明

祝 20

2017年5月、デジタル・ガーデンは20年目を迎えます。
感謝の気持ちと新たな決意を作品に込め、真摯に取り組んでいますので、
今後とも変わらぬご愛顧の程、よろしくお願い申し上げます。

DIGITAL GARDEN INC.



色眼鏡に惑わされず、
360度の広い視野を持った
人間になりたいです。
＜エンジニア＞

るい編集室／居住性の高い広い編集室をコンセプトとし、その傾向はポストプロダクション業界全体に浸透しました。しかしながら CM 制作の体制は変化しつつあり、よりコンパクトなポストプロダクション作業が求められてきています。大きな編集室を確保するのではなく、CG/VFX やコンポジット、仕込み作業などをフレキシブルにサポートできる体制で、制作側の負担を軽減できるような仕組みを作っていきたいと考えています。

そのためには単なる作業部屋のオープンというのでは無く、人材の有効な活用こそが必要です。当社では 2011 年から、指名により報酬が変動するインセンティブ制度を採用していますが、これに準ずるようなスタッフのモチベーションを上げることができる体制を考えていきたい。ポストプロダクションとして最も重要なのは“人材”と考えますが、人は短期間で育つものではありません。現在、我が社には Emmy 賞や Cannes Lions 受賞など世界で活躍する Compositor の Alex Brodie やカラリストの Maksim Golomidov が在籍し、彼らが若いスタッフたちの良い刺激となっています。やりがいのある環境こそが人を育て、最終的には当社を利用していただくお客さまへのサービスに繋がっていくものと考えています。

海外とのネットワーク強化を継続

足立氏：デジタル・ガーデンでは、2008 年の CO3 および Method との業務提携に続き、2016 年 2 月には英・Moving Picture Company (MPC) とも業務提携し、日本にいながらリアルタイムで海外のスタッフとカラーグレーディングセッションができる「リモートビューイング」サービスを開始しています。

このサービスは、海外テイストのあるクオリティの高いグレーディングサービスを継続的に提供していくもので、作品に応じて優秀なカラリストとリモートでセッションするというスタイルは、欧州やハリウッドでは既に当たり前のように採り入れられており、国内のクライアントからも高い評価をいただいています。

他社との差別化として開始した同サービスは現在、海外ドラマの CG 制作など、VFX 分野において国際間で 24 時間稼働し続けるグローバルネットワークのような取り組みも始まっており、今後とも積極的に展開していきます。

“Beyond the Imagination”

足立氏：当社では 20 周年を迎えるにあたり、本社 SK ビル 3 階の編集室等の改修工事を開始しました。さらに、コーポレートステートメントについて、これまでの“Make Surprising”から“Beyond the Imagination”に変更しました。我々がこの 20 年にわたって継続してきたことは、映像を中心に人の心を動かすことであり、技術力だけではなく、人により「感動」を創り出すということでした。これからも“想像の向こう”にある、新しい価値を創造し続けていきたいと考えています。

◇(株)デジタル・ガーデン <http://www.dgi.co.jp/>

本 社：東京都渋谷区恵比寿 2-36-13 広尾 SK ビル 2・3 階 TEL03-5791-2215

PLAZA：東京都渋谷区広尾 5-6-6 広尾プラザ 7 階 TEL03-5791-5885

